

海上自衛隊 第1術科学校温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

海上自衛隊 第1術科学校

(2) 事業所の所在地

広島県江田島市江田島町国有無番地

(3) 業種

行政機関 8221

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30（2018）年度を基準年度とし、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成30年度 (2018)	令和8年度 (2026)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
エネルギー 起源CO ₂	14,177	13,468 5.0%	12,556 11.4%	12,989 8.3%	13,916 1.8%		
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	14,177	13,468 5.0%	12,556 11.4%	12,989 8.3%	13,916 1.8%		
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	温室効果ガスの排出量は前年度からは増加したが、排出量を年1％削減するという目標は達成できた。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成30年度	令和8年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算kl)							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を年平均1%削減	・ボイラ分散化 ・ボイラ等の更新、効率的運転 ・給湯器等の効率的運転 ・老朽配管の更新
2	電気使用量の削減	電気使用量を年平均1%削減	・不要な照明の消灯 ・冷暖房時の温度設定を徹底 ・照明器具を省エネ型へ更新 ・空調機を省エネ型へ更新
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	水使用量の削減		・節水型水栓へ更新 ・節水の呼びかけ
2	紙使用量の削減		・封筒の再利用 ・用紙の裏紙使用 ・配布文書の電子化
3	環境意識の高揚		・環境月間、環境週間の設定 ・環境保全に関するポスターの掲示

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。